

平成21年度 第1回向日市高齢者保健福祉計画
及び介護保険事業計画策定委員会 議事録

開催日時	平成22年2月23日(火)午後1時30分開会～午後3時15分閉会
開催場所	向日市福祉会館大会議室(3階)
委員長	山本委員
出席者	山本委員長、高桑委員、村山委員、井上委員、疋田委員、檜谷委員 (以上6名)
欠席者	嶋田副委員長、出射委員、菊岡委員、廣川委員、東中委員、野村委員
傍聴者	なし
議事	(1)向日市介護保険事業計画の進捗状況について (2)高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について (3)第4期向日市介護保険事業計画に基づく認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)の整備について (4)その他
資料	介護保険事業の実施状況 高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況 第4期向日市介護保険事業計画における認知症対応型共同生活介護の整備経過について(平成21年度分) 平成22年度認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)事業予定者の公募に係る取り組みについて

議 事 の 経 過	
発 言 者 事務局	<p style="text-align: center;">発 言 の 要 旨</p> <p>1 開会 お待たせをいたしました。定刻になりましたので、ただ今から平成21年度向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、大変お忙しいところ、ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>本日の会議は、お手元にお配りしております会議次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>開会に先立ちまして、お知らせがございます。</p> <p>市民公募委員として、長年、この委員会でご活躍いただきました宮谷忠雄様が、本年1月15日にご逝去されました。享年68歳でございました。誠に残念でございましたが、謹んでご冥福をお祈り申し上げ、ご報告させていただきます。</p>
事務局	<p>続きまして、先日お手元にお届けさせていただきました本日の資料を確認させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">資料1～資料4を確認</p> <p>なお、本日は、嶋田副委員長、出射委員、菊岡委員、廣川委員、東中委員、野村委員は、所用のため欠席でございます。</p> <p>東中委員及び野村委員は、平成21年4月1日付けの京都府の人事異動に伴い委員として就任していただいております。</p> <p>又、幹事につきましても、平成21年4月1日付け、市の人事異動により新たに任命されておりますのでご紹介させていただきます。</p> <p>それぞれ、自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">《 幹事、事務局 自己紹介 》</p>

	<p>< 幹事自己紹介 ></p> <p>河合幸子 向日市健康福祉部参事 宮田経子 // 健康福祉部健康推進課長 稲生隆司 // 医療保険課長 小林賢次 // 地域福祉課長 能勢祥訓 // 老人福祉センター所長 小田芳弘 // 障害高齢福祉課長 関本信夫 // 障害高齢福祉課担当課長</p> <p>< 事務局自己紹介 ></p> <p>永野篤子 向日市障害高齢福祉課高齢介護係長 細川隆司 // // 担当係長</p>
事務局	<p>申し遅れましたが、私は、本日の進行を務めさせていただきます障害高齢福祉課の 関本 でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより、議事に入らせていただきますが、議事につきましては、本策定委員会設置要綱の規定に基づき、委員長が議長となると定めております。 山本委員長、議長をよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、これより、私が議長を務めさせていただきます。スムーズに議事が進行しますよう、よろしくご協力をお願いします。本日の会議は、お手元の次第により進めさせていただきます。本委員会は、原則公開で運営します。本日の議事の内容につきましては、向日市情報公開条例第6条各号のいずれかに該当して非公開とすべき情報は含まれていません。したがって、本日のこの会議を公開することにいたします。</p>
委員長	<p>平成21年4月から始まりました第5次向日市高齢者福祉計画及び第4期向日市介護保険事業計画がまもなく一年を迎えようとしています。</p> <p>本日は、この計画の進捗状況等につきまして、委員の皆様から多くのご意見をいただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事にはいります。 第1点目の「向日市介護保険事業計画の進捗状況について」を事務局から説明をしていただきます。</p>

事務局	<p>事務局お願いします。</p> <p>それでは、「向日市介護保険事業計画の進捗状況について」説明させていただきます。お手元の資料1をご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">【向日市介護保険事業計画の進捗状況について説明】</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
委員	<p>7頁の(8)介護サービス種類別保険給付費の推移(平成21年4月~12月)の執行率が、1年の4分の3で75%ということで概ね平均といていたが、先程の説明にもあったが、訪問リハビリテーションは12月末で既に90.44%で75%を上回っています。また、地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護は、見込額で4,017万9,592円のところ5,121万8,238円、127.4%となっています。6頁の平成20年度の実績でも既に4,709万円を超えているのに、平成21年度の見込み額が下がっているのはなぜなのか、見込みのたて方がおかしいのではないですか。</p> <p>それから、過去のいろんな冊子や会議で出てくる資料の数字が年度末であったり、4月であったり10月末であったりで、できたら統一していただきたい。また、2頁で認定者数の推移や認定率があるが、人口や第1号被保険者数が、その前の頁では確かめにくいので、同じ頁でも見られるよう、認定者率のところでも再度掲載していただくなど資料の作成を検討していただきたい。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。では説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>まず1点目、7頁の小規模多機能型サービスの給付額が見込額より大幅に増加した要因は、小規模多機能型サービスの利用者数が定員より登録が少ないということで、ケアマネ会議の折りに積極的にPRしたり、広報活動をしたことが利用増に繋がってきたと思います。また、地域密着型や施設利用が増えるということは、その分、居宅サービスが減少するということにもなります。</p> <p>2点目、人口や第1号被保険者数や高齢化率、また認定者数や認定者率がバラバラであるというご指摘がありましたが、それぞれの会議の最新といたしますか、直近のデータをお知らせしたいという思いがありました。しかしながら毎年10月なら10月とする方がいいのでは</p>

	<p>るならそのようにさせていただきます。またご意見を聞かせていただきながら検討していきたいと思います。</p> <p>今回の場合、国のデータ（後期高齢者の割合）も最新のものが8月1日でしたので、そのデータに照らし合わせ、向日市を比較するには7月末日でありました。このあたりも今後どうするか併せて検討してまいります。</p>
委員	<p>小規模多機能型もケアマネさんが頑張ってくださいって増えることは結構なことですが、前年度の実績より見込みが少ないのがおかしいと言っているのです。平成20年度で4,709万円もかかっているのに、なぜ700万円少なく見積もっているのかとお尋ねしているのです。</p>
事務局	<p>確かに平成20年度の決算で4,709万6,785円かかっているのに21年度の見込み額がこうなったかといいますと、この見込額を計算するには、第3期のそれぞれのサービス給付額や人口動態・第1号被保険者数・高齢化率・認定者数及び要介護別人数、並びに第4期で整備されます圏域や市内の施設数などあらゆるデータを府のワークシートに入力して割り出された見込額が第4期の3カ年の見込み額となります。過去の3カ年で少なかったサービスということで割り出された見込額が予想と食い違うのも多々あり、予測は難しいと感じております。ただ、在宅サービスが減ると施設サービスが増えるなど、平均して全体では12月末では75%ということになっております。</p>
委員	<p>今、事務局が説明したことも要因のひとつですが、補足しますと、この「こうふくプラン向日 第4期向日市介護保険事業計画」たてる時に、あらかじめ定められた算出方法に従い計画をたてております。例えば、65頁の第4期小規模多機能の欄ですが、3カ年同じ金額4,017万9,592円であがっております。</p> <p>ですから、本来なら、前年度より21年度で増えていけば22年度、23年度で5,000万円、6,000万円と予算を増額すればいいのですが、この計画書は20年度に3カ年分を作っている訳でして、先の読めない部分もありその分は実績額が増えた費目には、減った費目から「流用」しながら実際に使われたサービス分の給付費を支払うよう、やりくりしています。</p>
委員	<p>第3期の時も平成18年、19年、20年と同じことだったのですか。3カ年の予算額が同額でないのは、毎年度ごとに、実績をみて変</p>

	<p>えておられるということではないのですか。</p>
委員	<p>いいえ、計画書は第3期なり第4期の途中では変更しません。</p>
委員	<p>なるほど解りました。第4期の65頁「訪問介護」などは21年・22年・23年とそれぞれ見込み額が違いますね。ということは、これを作ったときに我々もこの計画書の数字をみていながら、小規模多機能型居宅はあまり増えないだろう、同じであろうということ通っていったわけですね。</p>
委員	<p>そうですね。小規模多機能はまだ利用者もあまりなかったものから、予想するのは困難だったと思われます。</p>
委員	<p>しかし、このサービスは利用者がひとりでも確実に増加すると予想された訳ですから、ここはおかしいと言わなきゃいけなかった。</p>
委員	<p>いろんな努力もしておりますが、不都合もでてきています。</p>
委員	<p>見込みを想定するときに、平成21年度はこうだから22年度は増えるだろう、23年度はもっと増えるであろうと、全体の見込みを変えていく計画はたてにくいですか。</p>
委員	<p>計画はたてられますが、第4期の3か年の給付額の総額から介護保険料を計算し、基準月額を割り出しています。</p> <p>計画をたてるときに給付費を増やすことは簡単ですが、それが保険料に跳ね返ってきますので、当然、介護保険料が高くなってまいります。</p> <p>施設がふえますと利用者も増え、給付額の総額が増大してきます。</p> <p>総額の半分が国と府と市、いわゆる公費で賄い、残り半分の20%が1号被保険者からの保険料と30%の2号被保険者となりますので、給付費の伸びがそのまま負担することになる訳であります。</p> <p>介護保険料に見合った施設の整備があればいいのですが、そうもいかない現状で、介護保険料だけ高くなってしまわないようにしています。</p> <p>この第4期は、国が「介護従事者処遇改善臨時特例交付金」という基金を、介護保険料の急激な上昇を抑えるためにそれぞれの保険者に交付してくれましたし、介護保険給付費基金も投入して保険料が高くない配慮をしていますが、それらがなくなると保険料が上がるの</p>

	<p>は避けられない状況になってまいります。しかしながら、後期高齢者の保険料も改定の時期がきますし、医療費もどんどん上がってきてまいりますので、「少しでも、上げ幅を少なくなるよう努力しなさい」という方針を基に給付見込みができております。</p>
委員	<p>今の調整交付金はいくらですか。</p>
事務局	<p>計画の段階では1.8%でしたが、今年は、1.68%との内示の通知が先日ありました。</p>
委員	<p>向日市は裕福だと思われるんですね。 平成15年頃は2.9%あったので随分下がってますね。</p>
委員	<p>本来、調整交付金は5%ですから、我々も機会あるごとに国に要望しています。</p>
委員	<p>国が25%の持ち出しを減らすことはおかしい。 調整交付金がせめて3%あれば助かるのに、その半分ですね。</p>
委員長	<p>向日市で法人市民税が見込める企業はどこがありますか。</p>
委員	<p>大きな企業は市内ではありませんね。</p>
委員	<p>は京都市ですし、は長岡京市ですし、向日市となると ぐらいですか。西向日のはどうですか。</p>
事務局	<p>優良企業です。堅実にやっておられる会社です</p>
委員長	<p>企業の法人市民税に頼ると、景気の変動が左右しますね。</p>
委員	<p>会社が厳しくなると、当然そこの社員さんの所得にも影響がでて市民税などに変動します。</p>
委員長	<p>大きな企業もないので、いろいろ要望しても厳しいですね。先日、京都市内で介護担当の人と会話した際、私が乙訓の向日市に住んでいるといたら、向日市は京都府の中でも福祉が充実していると言われた。医師会が頑張っておられるのもひとつの要因かという話しであり</p>

	<p>ました。</p> <p>他に無いようでしたら 次の、第2点目、「高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について」事務局から説明をしていただきます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>それでは、「高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について」お手元の資料2をご覧ください。</p> <p>【高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について説明】</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対し、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
委員長	<p>生活支援型ホームヘルプサービスの利用料金はいくらですか。</p>
事務局	<p>生活保護世帯は無料で、生活援助は1時間あたり220円で時間に応じて加算される設定であります。</p>
委員長	<p>配食の自己負担額及び利用回数はどうなっているのですか。</p>
事務局	<p>自己負担は、1食480円で週4回利用していただけます。</p>
委員	<p>5頁の認知症サポーター養成講座ですが、講座を受けてサポーターとなった方々に対して、何か活動したり、1年に1回くらいサポーター同志の交流や講師の方に来ていただいて研修会を行うなどは今後考えていますか。</p>
事務局	<p>認知症サポーター養成講座の目的は、まず認知症の理解をしてもらうことが主となっています。そのあと、何をするかといったきまりがあるものではありません。現在、サポーターの活動については特に計画しておりません。</p> <p>なお、サポーターとは別にサポーターを養成する側のキャラバンメイトの交流会は計画しています。</p>
委員	<p>認知症についてですが、今までは、全国老人クラブ連合会の会合では「介護予防」というものに取り組んできましたが、去年から認知症ということが頻繁に出てきています。そして、サポート養成をやるかとか盛んに認知症に対する話題になります。大分県だったと思うの</p>

事務局	<p>ですが、地域ぐるみで認知症の徘徊の見守りをおこなっていると聞いたことがあります。</p> <p>向日市の場合、社協に委託しているらしいが、老人クラブでは対応をどうしたらいいか、今ひとつ解らない。</p> <p>500人の認知症サポートを見込んでいるとかですが、自治会とか、地域ぐるみでの取り組みについて、行政として、区長会や民生児童委員連絡協議会等に対して考えていることはありますか。</p> <p>平成21年10月から少しずつ、事業を進めている状況です。今後もさまざまな団体に働きかけて、認知症の方とその家族を支えていくための体制づくりに取り組みたいと考えています。</p>
委員	<p>うちのばあさん、最近少し・・・とか、うちのじいさん呆けて・・・と言った認知症の相談がありますか。</p>
事務局	<p>はい ございます。市だけでなく地域包括支援センターなど合わせて一緒に取り組んでいます。</p>
委員長	<p>家賃助成について、所得要件などはありますか。</p>
事務局	<p>あります。前年度市府民税が非課税で家賃が月50,000円未満です。</p>
委員長	<p>他になければ、次の議事(3)の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料3、第4期向日市介護保険事業計画に基づく認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)の整備について、及び資料4、平成22年度認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)事業予定者の公募に係る取り組みについて、を続けて説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><資料3、資料4について説明></p>
委員長	<p>ただ今の説明に対しまして、ご質問等はございませんでしょうか。資料4についてであります。次の公募の件数は？</p>
事務局	<p>現在、問い合わせとか相談に来られているのが7社ぐらいあります。</p>

委員	<p>その中には、市内でやっておられるところもあります。そういった中で一事業者を選ばしていただくのですが</p> <p>グループホームは18人規模というのは決まっているのですか</p>
事務局	<p>これは決まっております、1ユニット9人で、2ユニットですから18人です。</p>
委員	<p>キャビックさんが平成21年度で決まって、補正で補助金の2,625万円の他に、市の介護保険特別会計から支払う金額がどれくらいありますか。</p>
事務局	<p>これは、府の介護基盤の緊急整備事業の基金を活用して、市を通して補助を行います。介護保険特別会計からは何もありません。</p>
委員	<p>キャビックさんの1億数千万円の費用を逆算すると、1億なにがしの費用を国が半分、市や府が4分の1なりが入るのですか。土地代などはどうですか。</p>
事務局	<p>土地代は入りません。建物だけに補助金が支払われます。</p>
委員長	<p>国が補助金を出し、府が基金として預かり、それを市が受けることになります。その基金を活用するということになります。</p>
委員	<p>かつては、福祉施設をつくった場合、半分は国で、半分は府とかありましたね。</p>
事務局	<p>それは特別養護老人ホームの場合で、これは地域密着型の施設ですから、そういう補助金はありません。今回は国なり府の基金を活用して介護施設の整備にあてるものです。歳入で受けて、歳出で補助することになります。</p>
委員	<p>前回にも少し話題であがり、今はストップしているようですが、寺戸町北前田の複合施設にも補助金がありますか。向日市独自で補助する費用はどれくらいですか。</p>
事務局	<p>複合施設ではありますが、地域密着型サービスの部分には緊急基盤整備の基金を活用するというので、認知症サービス及び小規模</p>

<p>委員長</p>	<p>ケアハウスには補助金があります。しかし普通のディサービスとショートステイなどはこの基金は利用できません</p> <p>7事業所が手をあげている中で、市が内々で「ここがいい。」といった考えはありますか？</p>
<p>事務局</p>	<p>いいえ、ありません。地元や大阪・東京といった方々から打診がありますが、全て、実際に応募されるかという点ではわかりません。</p> <p>ただ、京都府内で3年以上介護の業務経験を有するところが条件をつけさせていただいております。向日市のことを何もご存じないところはお断りしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>業者選定には、プレゼンテーションをしてほしいです。書類だけ立派でもプレゼンテーションをすると、全く・・・というのがありますので、ご検討ください。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。検討させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>向日市だけということではなく、このあたり二市一町で、特別養護老人ホームができる計画は今のところないのですか。</p>
<p>委員</p>	<p>グループホームはできるが、お金が大変で特養ができれば助かるが申込みしても順番待ちでという話を良く聴きますが。</p>
<p>委員</p>	<p>この福社会館の北側にも土地がありそうですが、誰か買って、やってやろうという人がいてくれるような話しは出ませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>土地を探しておられる方の話しでは、この建物の裏の土地は売却される予定だそうです。土地を借りて施設をと考えておられるので、大変むずかしいようです。</p> <p>長岡京市奥海印寺に「第二天神の杜」が平成22年6月に開設され、向日市から10人の入所確保をいたしております。</p>
<p>委員</p>	<p>向日市社協でディサービスの利用をしていた人が、隣市へ引っ越しされた。今までどおり、向日市社協を利用したいができないと断れた。それで、それはおかしいと、介護保険が始まったときの各施設のサービスエリアを調べたら、社協のディは対象が向日市民となっていた。</p>

	<p>ホームヘルプはどこでも使えた。向陽苑さんや回生さんなどは向日市民だけでない。今でも社協のサービスエリアがそうになっているのか。その方は、ここの社協に慣れていて、他のディサービスではなじめない。「送迎が行けない」といわれたので、「連れてくる。」といっても、「だめだ。」と断られたそうです。</p> <p>社協ができたとき、「民間を圧迫するからサービスエリアを市内に決めた」ときいたことがあります。</p>
事務局	<p>住み慣れた地域で暮らしていただく観点からも、情報提供をしっかりとるように指導していきます。</p>
委員長	<p>それでは、(4)その他について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>特にありませんが、特別養護老人ホームの建設予定について発表して頂きましょうか？</p>
委員	<p>向陽苑の敷地の中で、第5期に計画する施設の前倒し計画に手を挙げています。未だ、設計図を準備している段階ではありますが、小規模特養29人、特養に近いケアハウス10人、合計39人を計画しています。介護基盤緊急整備計画の一環で、それを受けられれば、向陽苑の敷地は向日市からの借地なので、特養もケアハウスもその分格安にて提供できるものと思っています。</p>
委員長	<p>他に、ございませんか。</p> <p>本日の議題は、ここまでとなっております。</p> <p>他にご意見がないようですので、本日の会議は終了とさせていただきます。</p> <p>本日は、本当にありがとうございました。</p>